

須々木川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～河道や水門の機能維持による浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

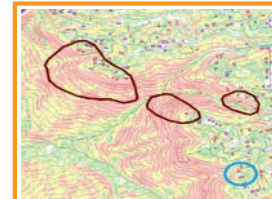
- 令和元年東日本台風では各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生しており、須々木川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 須々木川流域は、海岸付近の下流域に住宅地が広がる地形的特性などにより洪水や津波の浸水被害のリスクが高いことから、河川改修や水門の機能維持を実施する。
- これらの取組により、県管理区間においては、年超過確率 1/5 規模の降雨による洪水を安全に流下させることに加え、想定される津波からの被害の防止又は軽減を図る。
- 加えて、あらゆる関係者が連携し、各戸貯留や水田貯留など流出抑制対策の推進、浸水リスクを踏まえたまちづくりの推進や各種ハザードマップの作成・周知等、ソフト対策と合わせて流域一体となって、激甚化する水害や想定される津波に対して被害の軽減を図る。



須々木川水門施設修繕



河道掘削(イメージ)



土砂災害警戒区域
LP測量による新規抽出



出前講座(小学校) イメージ

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【流下能力の向上】

- ・ 河川改修(河道掘削、伐木等)、水門の機能維持(施設修繕)
- ・ 内水氾濫対策の強化(雨水幹線、排水系統の見直し)

【貯留機能の確保】

- ・ 雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留、公園貯留等)

【流域の流出抑制】

- ・ 流出抑制対策の推進(各戸貯留、水田貯留等)
- ・ 砂防施設等の整備、森林整備・治山事業

等

● 被害対象を減少させるための対策

【土地利用】

- ・ 水災害リスクを踏まえたまちづくりの推進(都市計画マスタープランへの位置づけ)

- ・ 土地利用の適正指導、無秩序な開発の抑制

【住まい方の工夫】

- ・ 災害ハザードエリアの開発抑制
- ・ 水災害リスク情報空白域の解消(土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出)

- ・ まるごとまちごとハザードマップの推進

等

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【水災害リスク情報の充実や周知】

- ・ 水災害リスク情報空白域の解消(洪水浸水想定区域図の作成、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置)

- ・ ハザードマップ周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組(住民及び小中高等学校への水防災教育、出前講座、避難訓練、マイ・タイムラインの推進等)
- ・ サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供

【避難体制の強化】

- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

等

須々木川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～河道や水門の機能維持による浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

- 須々木川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 河川整備計画に基づく河川改修や水門の機能維持に着手する。
 加えて、被害軽減のために内水氾濫対策の強化や公共施設の雨水貯留浸透施設の整備を検討するとともに、流出抑制対策の推進を行う。

【中期】 浸水被害軽減のために校庭貯留や公園貯留などの雨水貯留浸透施設の整備を推進する。
 浸水リスクを考慮したまちづくりのため、都市計画マスタープランへの位置づけを行う。

【中長期】 流下能力維持のために河川整備計画に基づく河道掘削や水門の機能維持を継続的に実施する。
 併せて、市と連携したハザードマップの周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組などソフト対策による継続的な取組により、流域住民全体の防災意識向上を図る。

■事業規模
 ・河川対策
 全体事業費 約1億円 ※1
 対策内容 水門の機能維持 等

※1：整備計画残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ※調査・検討から着手する施策については地権者の協力等、関係者間の調整が整った箇所から実施

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	流下能力向上のための河川改修の実施 水門の機能維持	静岡県・牧之原市	整備計画に基づく河川改修、水門の機能維持		
	内水氾濫対策の強化	牧之原市	調査・検討	内水氾濫対策(雨水幹線、排水ポンプの整備、排水系統の見直し)の強化※	
	河川への流出を抑制する 雨水貯留浸透施設の整備	牧之原市	調査・検討	雨水貯留浸透施設(校庭貯留、公園貯留等)の整備※	
	流出抑制対策の推進	静岡県・牧之原市	調査・検討	流出抑制対策(各戸貯留、水田貯留等)の推進※	
	砂防施設等の整備、森林整備・治山事業	静岡県・牧之原市			
被害対象を減少させるための対策	土地利用の適正指導、無秩序な開発抑制 災害ハザードエリアの開発抑制 まるごとまちごとハザードマップの推進	牧之原市			
	水災害リスクを踏まえたまちづくりの推進 (都市計画マスタープランへの位置づけ)	牧之原市	調査・検討		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県・牧之原市	洪水浸水想定区域図作成、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置		
	ハザードマップの周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組	静岡県・牧之原市	マイ・タイムラインの推進、住民及び小中高等学校への水防災教育、出前講座、避難訓練等		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	牧之原市			
	サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供	静岡県・牧之原市			



【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降